



### (3) 授業の詳細 (音楽)

1 限目はサモアを知る前にサモアについてのイメージを想像しながら書かせた (資料 1)。その後、サモアについてパワーポイントで解説。サモアがどこにあるのか、言語は何か、宗教はキリスト教であることや食事の習慣が年功序列で子供は最後に食べるなど、写真も豊富に取り入れ説明した。また「混雑するバスに乗るときはどうするか？」などクイズを出題し、フォトランゲージも体験させた。お金を実際に見せたり、ビンゴシートを見せながらサモアでのビンゴの楽しみ方を伝えたり、タロイモチップスとバナナチップスを試食し、感想を述べ合させた。またラバラバも実際に見せてサモアの人の服装にも触れた。

2 限目は前回学んだことをふまえてサモアと日本の文化を比較させた。気候・服装・食事・住居・習慣などについて考えさせた。まず自分たちが考える日本の文化についてプリント (資料 2) の項目に添って回答させ、サモアの文化について一緒に考えさせた。次にサモアの教科書を見せ、サモアで日本はどのように紹介されているかを読み、日本の文化や習慣はどのようなものがあるのかを列挙させた。

3 限目はサモアで撮ったビデオでフィアフィアやファイヤーダンスやカバの儀式を紹介し、学校での子供たちの歌を鑑賞させた。フィアフィアは男女で踊りの動きが違うこと、またその動きには意味があることを説明した。ファイヤーダンスは子供がすることを伝えた。カバは植物の根を使う儀式でそれはどんな味がするのか、また儀式の中身も簡単に説明し、それと関連させてマタイの存在も説明した。小学校・セカンダリースクール・カレッジでの子供たちの合唱の響きを鑑賞させた。それからサモアの風景も一緒に見て、国のイメージをさらに具体化させた。潮吹き岩など自然が生み出した地形についても説明した。感想を書かせるとともに、日本の音楽・文化と比べて感じるところも書き出させた。

4 限目ではサモアの音楽と文化をまとめさせた。音楽の多様性は気候や風土などの自然環境、歴史や社会などの環境、その社会の中での価値観などと密接に関係していることに気付かせた。音楽とは人として生きていくためにはなくてはならないものだ改めて認識させた。またそれぞれの国に色々な文化があり様々な考え方があることを尊重し合うことの大切さを感じさせ、この授業のまとめとした。

### (4) 生徒の反応 (音楽)

まずサモアという国があること自体知らない生徒がたくさんいた。したがってサモアという国があるということに驚いている様子であった。またアジアと思っていた生徒も多くいた。気候は温暖や熱帯といったものが多く、人々のイメージは明るく、陽気というようなもので、大体実際のサモアのイメージと似通っていた。ただ宗教がキリスト教だということを説明すると意外だったようで「南国でキリスト教？」というような感じであった。まず 1 時間目ではパワーポイントを使い写真を見せながら説明をした。その際ベジタブルマーケットで何を売っているかに興味を示していた。タロイモチップスやバナナチップスを試食したことは味覚でもサモアを感じることができ好評だった。食べ物が硬貨のデザインになっていることにも感心していた。またマクドナルドがあることを知ると、「こんな国にもあるのか〜」という反応が多く、遠い国を身近に感じていたようだ。住居は窓のない家もあるということに驚き、ビンゴの楽しみかたに意外性を感じ、バスが混んでいたら人のひざに座る習慣にはかなりびっくりしたようだった。食事の習慣も子供が最後に食べる

ことに驚いていた。しかし何といても一番衝撃だったのがウム料理で、豚を窒息させて料理することにカルチャーショックを受けたようである。

2 時間目の授業ではサモアの文化と日本の文化にスポットをあてたが、サモアの教科書に日本が詳しく紹介されていることを知り、「自分はサモアを知らないのにサモアの人こんなに日本のことを勉強している」と感心していた。またサモアから見た日本を知ることにも新鮮だったようで、「普段自分たちが当たり前のこととと思っていることが、サモアの人には珍しいことだったりする」というような意見や「日本は文化の伝承とかあまり意識しておらず、古いものは捨てられていくからもっと大事にした方がいい」というような意見が出た。また「音楽や踊りが好きなのは共通なんだ」というような共通している部分に目を向けている生徒、「日本は豊かだといわれているけれども、サモアの勉強に対する意欲、積極的な態度はすばらしいものだし、心の豊かさで言えば、日本よりも豊かなものに思えた」という感想を持った生徒もあり、それぞれの生徒の心に響くものがあったようである。

3 時間目の授業では文化の中でも音楽とダンスに焦点をあててみたが、ファイヤーダンスの迫力は生徒の印象に強く残ったようである。そして打楽器の技術の高さにも注目していた。特に吹奏楽部で打楽器をしている生徒は魅力を感じていた。フィアフィアに対しては「手の動きが独特で南国の雰囲気を出している」「女の方はフラダンスみたいでゆっくりしていた」などの感想があった。またサモアの生徒の歌については歌声の響きの豊かさ、明るさ、音程感覚のよさに感心していたし、音楽を心から楽しんでいることも感じとっていた。他の感想としては「歌ったり踊ったりできる機会が多いのがうらやましい」との意見もあった。

4 時間目はまとめとして音楽と文化をテーマに話をした。音楽の特徴はその国の気候や風土などの自然環境、歴史やその社会の中での考え方とかかわっていることを改めて認識したようだ。そして音楽自体が一つの文化であるということも感じていた。他の国の音楽を知ることはその国の文化を知ることにつながり、相互理解のきっかけにもなると感じている生徒もいた。この 4 時間を通じて生徒からは「豊かさとは何か考えさせられた」「サモアに行きたくなった」「音楽を楽しむことの大切さを感じた」「サモアは自分が思っていたイメージとは全然違っていい所なんだなあと思った」などの感想があげられた。この授業を通して生徒の世界観が大きく広がったようである。

### (5) 音楽以外での実践報告

3 年生の時事問題で 1 時間実施。「世界の現状を知る サモアってどんな国？」というタイトルでパワーポイントを使って話をした。最初は音楽の授業と同じように写真やクイズをしながらサモアについての理解を深め、ゴミ問題などについて話をした。生徒は音楽の授業と同じようにサモアについてほとんど知識はなかった。ビンゴを夜にみんなで何時間も楽しむことや、豚を窒息させて食べることや、ゴミ減量のためにとうもろこしの袋を使っていること、亀が食べ物と間違えてビニール袋を食べてしまう話などが印象に残ったようだ。また JICA の仕事にも触れ、青年海外協力隊と言っても、教師やゴミ処理施設の建設やきのこ作りなど、様々な職種があることを説明した。自分の持っている知識や技術を活かせる場として JICA に興味を持っている生徒もいた。

授業（時事問題）の様子



資料 1

## サモアで見たこと・感じたこと

年 組 番 氏名：

♪サモアを知る前のイメージ  
サモアってどこにあるの？

気候は？

人々のイメージは？

ライフスタイルは？

宗教は？

その他なんでも！

♪サモアについて話を聞いた感想は？  
最初のイメージとの違いなども踏まえて書いてみよう。

資料 2

## サモアと日本の文化の比較

組 番 氏名：

♪まず日本での項目を埋めてみよう。次にサモアの項目を前回の授業を思い出しながら一緒に埋めてみよう。

	日本	サモア
気候		
洋服		
建物		
食事		
家		
スポーツ		
音楽		
乗り物		
商店		
娯楽		
習慣		

♪サモアの教科書に載っている日本について見ていこう。そしてその内容をまとめてみよう。

♪お互いの国を比較しての違いや感想などを書いてください。